

ういうい - しい 初々しい ui-ui-shii

意味

まだものごとに慣れていないようす。初心である。初である（幼げである）

用法

「～しい新入生」

・類似：みずみず - しい，わかわか - しい，ぴかぴか，びちびち

ういうい 回々 ui-ui

意味

「回回教」回教（イスラム教）の異称。（「ういうい」または「ふいふい」は唐音でウイグルという語でも知られる）

用法

・類似：かいかい

うおんうおん uon-uon

意味

大きな鐘（＝鐘楼しょうろう）の鳴る音。

・類似：おんおん

うかうか uka-uka

意味

(1) とてもうっかりしているようす。不注意で気がつかないようす。 (2) 不安で、心が落ち着かないようす。

用法

(1) 「～してはいられない」

・類似：(1) ぼやぼや

うかうか - しい uka-uka-shii

意味

とて軽率である。とても軽はずみである。

用法

・類似：かるがる - しい

うきうき 浮き浮き uki-uki

意味

(1) 落ち着かないようす。 (2) 陽気で心が浮き立つようす。とても心がはずむようす。

説明

“気分や気持ち”ではなく、浮いている対象がモノの場合は「ふわふわ」。

用法

(1) 「～して待っている」 (2) 「心～」

・類似： (2) そわそわ (2) わくわく

うきうき uki-uki

意味

白玉を冷やして砂糖をまぶした食べ物。(白玉を冷やすために水に浮かべた時のようすから)

うすうす 薄々 usu-usu

意味

(1) とてもうっすらと。ほのかに。かすかに。 (2) とてもおぼろげ／ぼんやりとではあるが分かるようす。

用法

(2) 「～気がついていた」

うじうじ uji-uji

意味

とてもためらっている態度やようす。いつまでも煮え切らない(はっきりしない)ようす。

用法

「いつまでも～するな」

・類似：くよくよ，もじもじ，ぐずぐず

うじゃうじゃ uja-uja

意味

(同じ種類の)小さな虫や魚などが多数集まっとうごめくようす。

説明

「うようよ」に比べて、単に“たくさんいる”というより不快感を伴っている例が多い。また小動物でなく人間にも用いられる。

用法

「魚が～いる」「子どもが～いる」

・類似：うようよ

うずうず uzu-uzu

意味

(1) あることがしくて、じっとしていられないようす。 (2) 少し動くようす。

用法

「腕が～してくる」「行きたくて～している」

・類似：(1) むずむず (2) うじうじ

うだうだ uda-uda

意味

どうでもいいことを、いつまでもしたり、言ったりするようす。

用法

「済んだことをいつまでも～言っている」

・類似：ぐだぐだ，ぐずぐず，ちんたらちんたら

うだうだ - しい uda-uda-shii

意味

間が抜けて、ぼかんとしている。

うちうち 内々 uchi-uchi

意味

(1) 表沙汰に(＝おおやけに)にならないこと。内輪(うちわ＝内部)。 (2) ひそかに。内緒
(3) 家の中だけのこと。

用法

(1) 「～で処理した」 (2) 「～の話」

・類似：(1) (2) ないない

うつうつ 鬱々 utsu-utsu

意味

(1) 心がふさいで楽しくないようす。憂鬱で気分が晴れないようす。 (2) ...反対に、気分が高揚してゆくようす。 (3) 草木が盛んに茂っているようす。

用法

「～として暮らす」「～たる気持ち」

うつうつ utsu-utsu うつらうつら utsura-utsura

意味

半ば目覚め、半ば眠っているようす。

用法

「ちょっと～していた」(一般には、現在では「うつらうつら」であろう)

・類似：うとうと，とろとろ

うとうと uto-uto

意味

浅く眠るようす。眠気を催すようす。

用法

「～と居眠りをする」

・類似：うつうつ，うつらうつら，とろとろ，こくりこくり，こっくりこっくり

うとうと - しい 疎々しい uto-uto-shii

意味

とても疎い(＝親しくない)。とても疎遠である。

うねうね une-une

意味

山並み／波／道などが高低や屈曲があって長く続くようす。

説明

《語源》うねる

用法

「～と続く道」

・類似：くねくね，のたりのたり，えんえん

うはうは uha-uha

意味

喜びや満足をオーバーに(大げさに)表現した語で、俗語的な表現。

用法

「～喜んだ」

うひうひ uhi-uhi

意味

笑い声。意味ありげな笑いで、俗語的な表現。

うまうま uma-uma

意味

「旨い(おいしい)もの」が転じて「たべもの」のこと。

うむうむ umu-umu

意味

同意のあいづちで、古い時代の言い回し。

用法

・類似：ふむふむ

うようよ uyo-uyo

意味

同じ種類の動物（多くは小さな虫や魚など）が多数集まってうごめくようす。

説明

単に“たくさんいる”というより不快感（小動物）や軽蔑（人間）を伴っている例が多い。

用法

「虫が～いる」「悪い奴が～している」

・類似：うじゃうじゃ、ぞろぞろ

うらうら ura-ura

意味

とてもうららかなようす。

説明

《語源》麗らか＝日差しが柔らかで、のどかな（春の）ようす。

用法

「～と晴れた春の空」

うらうら 浦々 ura-ura

意味

あちこちの浦。いたるところの浦。

用法

「～を巡った」

うるうる -

意味

涙ぐむ。泣く。（昭和 63 年頃の若者の流行語）

説明

《語源》潤む…目が潤む（＝泣く）であろうか？

用法

「悲しくて～してしまった」

・類似：しくしく

うろうろ uro-uro

意味

多くの人(や動物が)がうろついているようす。頻繁に(何度も/よく)うろついているようす。

説明

《語源》うろつく = 目的も定まらず行ったり来たりする。あてもなくあちこちを歩き回る。

用法

「浮浪者が～している」「出口を探して～した」「～眼」= 落ち着かずうろついた目。「～船」= (江戸時代) 物売りの小舟の一種。「～涙」= 今にも泣きだしそうなようす。

うんぬん 云々 un-nun

意味

(1) 引用した文や言葉を途中で切って省略する時に用いる語。「...と言うことである」という意味で用いる語。(2) 一言では言い切れないことを差す語。

説明

同じ語をそれぞれに異なる発音をする少ない例外の言葉。さらに重畳して「云々云々」を「うんゆんくんぬん」と言う。

用法

(1) 「総理の発言を～することは差し控える」(2) 「～の事情がある」

・類似：(1) なににに、しかじか (2) などなど、さまざま